はちどり　代表取締役社長　石原慧子さん

「学びと成長は永遠に終わらない」をビジョンに
自動車学校から教育業へ　続ける変革

なでしこ力

石原 慧子さん

「安城自動車学校」（安城市）の社長に就任して 14 年。「日本で一番事故のないまちづくり」を目指し、「学びと成長は終わらない」をビジョンに教育業として新規事業も拡大し続け、令和元年に社名を「株式会社はちどり」に変更、自動車学校の名称も「コアラドライブ 安城」に変更した。代表取締役社長、石原慧子さんは自動車学校業界で独自路線を歩み続けている。

「はちどり」の現在の事業は自動車学校「コアラドライブ 安城」のほか、企業向けの交通事故削減コンサルタント・研修業務を行う「人と安全研究所」、ドローン教習所（愛知三河校・名古屋校）、幼・小向け運動教室の「忍者ナイン」（今年 2 月には英語の学童保育所も開設）など。

このうちの「コアラドライブ 安城」は昭和 45 年に安城自動車学校として設立された基幹事業で、石原さんは同校の 3 代目社長だ。現在、企業の社員教育として「安全管理や安全運転の研修」、「安全指導やコンサルティング」事業や自動二輪のライディングスクールなどの開設をしている。生徒に対しては「ほめて伸ばす教習」を実践、インストラクターの担当制、学科教習のオンライン化なども打ち出してきた。また年 2 回、NPO とともに交通安全を訴える「生命のメッセージ展」を校内で開催。犠牲者の等身大パネルと生きた証の象徴である遺品の靴、家族のメッセージを展示しており、多くの人が訪れる地域密着事業所になりつつある。

若者の車離れや少子化で自動車学校は厳しい環境にあるが、石原さんは「厳しいのはどの業界も同じ。掲げたビジョン実現のために人を育てるのが大切なのです」と語る。現在の業務を教育業と位置づけ、『教える』ことに特化し業務を拡大。「30 万円もの大金を支払って自動車学校に通っていただくのです。教育はその時間が価値あるものであり、生活を彩り豊かになるようなサポートをお客様に対して行うという認識です」。

石原さんは激動の青春時代を送り、十代で「事業主になる」と決め父親に宣言。大学卒業後、別の大手自動車学校で 2 年間修業し、父親が経営する安城自動車学校（現・コアラドライブ安城）に 25 歳で入社した。「一つの生命の尊さを伝えていく学校づくりがしたい」と高い志を持って入社したが、当時、それどころではなかった。設備は古く、施設は煙草臭く、自動車学校黄金時代のままの高圧的な指導員に生徒がおびえていた。

危機感を覚えた石原さんは、入社直後から生徒のアンケート全部に目を通し（今でも続けている）、入社一年後から改革を始め、校舎の改修工事にも備えた。生徒と指導員の信頼関係を